

—未来をひらく—

竜爪山 九条の会

りゅうそうざん
きゅうじょうのかい

会報 2020年4月発行 通巻39号

発行／竜爪山九条の会・事務局

〒420-0812 静岡市葵区古庄3-19-34 五井卓方

TEL・FAX 054-264-4918

E-mail ryusouzan9@gmail.com

URL <https://ryusou9.jimdo.com>



歴史的危機に遭遇して

北野 豊
(古庄)

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、竜爪山九条の会13周年のつどいも中止せざるを得なくなりました。第二次世界大戦後も、世界各地で地域紛争、9・11のようなテロ事件、3・11のような大災害など、多くの人びとの人生観や人生そのものを変えてしまう出来事が起こってきましたが、私たちは今、規模において、それらを上回る歴史に残る出来事に遭遇しているのではないのでしょうか。

これを機に、緊急事態条項を盛り込んで、憲法を変えてしまおうという動きがあります。けれども私は憲法11条から13条の規定でじゅうぶんに対応できる、むしろ対応すべきと考えます。

11条では、国民に保障する基本的人権は永久不可侵、13条ではその人権は「公共の福祉」に反しない限り、国政上最大尊重されるとしています。ここで問題になるのが、公共の福祉の名のもとに人権制約がおこなわれるのではないかということです。

12条には、「この憲法が国民に保障する自由及び権利は、国民の不断の努力によつて、これを保持しなければならない。又、国民は、これを濫用してはならないのであつて、常に公共の福祉のためにこれを利用する責任を負ふ」と規定されています。憲法は国家権力をしぼるものと言われますが、ここでは国民の責任を求めているのです。言い換えれば、何が「公共の福祉」であるかは、国家が決めることなく、国民一人ひとりが常に考えていくことなのです。

今回、竜爪山九条の会13周年のつどいは中止されました。これは国家権力によって強制的に中止されたものではありません。私たちは移動する自由も、集会を開催する自由も持っています。けれども、もし集会が新型コ

コロナウイルスの感染源になるようなことがあれば、多くの人たちの人権が奪われてしまう。「公共の福祉」を考えれば、中止が賢明な判断であったと私は思います。

「公共の福祉」というのは、「国家」の利益を優先することではありません。まして、国家権力を握る人たちの利益のためでもありません。自分も含め、より多くの人びとの利益が守られるということです。

私たちは専門家でないので、新型コロナウイルスと言われても、じゅうぶんな知識もなく、どのように対処することが公共の福祉のためになるのか、よくわかりません。その判断材料としての科学的な情報が必要です。そのためには、何よりも情報が自由に発信できる社会であることが重要です。

私自身はさまざまな情報から、しっかりとこまめに手を洗うことが、新型コロナウイルス感染防止に対しても、かんたんで最も効果的であると判断しました。続いて換気です。

国に求められることは、「公共の福祉」の名のもとに、情報発信や行動に対して強制的に制限することではなく、国民の「公共の福祉」に対する願いに応える制度や施設・体制をしっかりと整備していくことです。感染症、災害など、「公共の福祉」の立場から国がやらなければならないことはたくさんあります。そして、その先頭に立って尽力するのが内閣総理大臣の使命です。

人間は自分の権利を守ろうとするあまり、他人の権利を侵してしまうことがあります。このような被害に人間は何千年もの間、向き合ってきました。キリスト教の聖書には「自分を愛するように、あなたの隣り人を愛しなさい」とあります。自分の人権とともに、相手の人権も尊重するように説いています。孔子は「70歳になったら自分の心のままに行動しても人道を踏み外すことがなくなった」と語ったと言われています。

この孔子が70歳にして達した境地が、人間としての「個」の確立であり、民主主義の基礎であり、その上に「公共の福祉」が実現されていきます。私たちは、この境地をめざして、不断の努力を積み重ねるとともに、未来を担う子どもたちが「自分の権利と公共の福祉」について考え、体験していく機会を、学校で、家庭で、社会の中でたくさんもつことができるよう、努めていかなければならないと思います。子どもたちが、自分で考え、判断しても、公共の福祉を侵すことなく行動することができる。そのような「個」として確立した人間を育てていくことが、教育であり、私たちの使

命であると思います。

自衛隊明記や緊急事態条項などを盛り込んだ形で憲法を変えたい人たちは、国家による強制力を強めたい、自由を制限したいようです。けれども、ウイルスも台風も、人間の強制力はまったく効かない存在です。そのようにきわめて自由な存在に対して、強制された人間が、はたして太刀打ちすることができるのでしょうか。

新型コロナウイルス感染拡大によって、私も多くのことを考える機会が与えられました。

平和を感受するひととき

望月 喜子夫
(油島)

何年前からか忘れたが、毎年一月から二月にかけて、我が家の庭先にツガイと思われるメジロが来るようになった。椿にミカンを吊るし、サツキの上にはバナナを置いてやると、五分もしないうちにどこからともなく来てついばむ。その動作が何とも言えずかわいらしくて、家内と一緒につい見とれてしまう。三月に入ると、彼らにかわって鶯が梅の枝にとまり、きれいな鳴き声を聞かせてくれる。

こうしたささやかな幸せを味わえるのも、私たちが七〇年の歴史を持つ平和憲法に守られているからだと思う。平和な令和時代が永く続くことを願ってやまない。



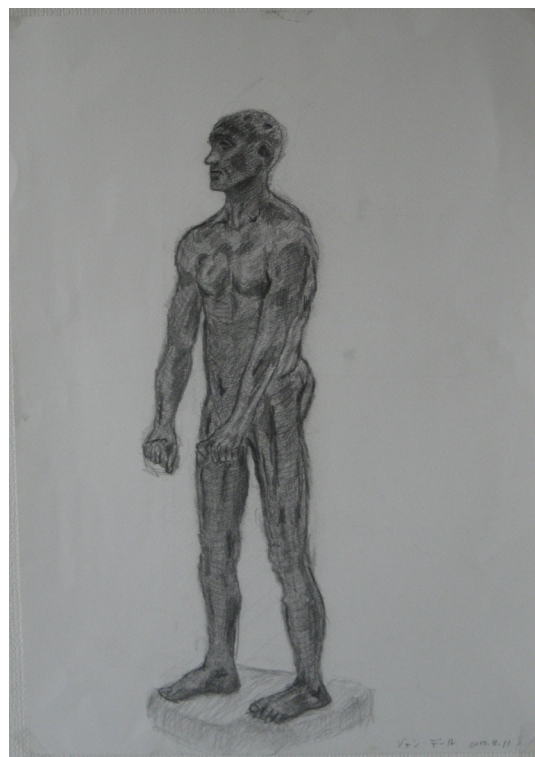
ミカンをついばみに来たメジロ

ロダンの作品からの迷想

富田 家一郎
(瀬名)

私は二年ほど前から静岡県立美術館ロダン館のデッサン教室に通っている。月1回の教室だが先生が教えるスタイルでなく、生徒が自由に選んだ作品を鉛筆デッサンする。私は全くの素人だが午前10時から、午後3、4時まで数時間かけてデッサンする。今までに“カレーの市民”や“考える人”などにチャレンジした。そこで、素人の私が感じたことを紹介したい。(あくまで素人の感想、念のため。)

カレーの市民のブロンズ像群は、約500年前の英仏100年戦争のとき、英国王エドワード三世に包囲されたカレー市の人質として出頭する6人がモデルである。私が像を前にデッサンを始めると、それぞれの市民の像から“恐怖”“毅然”“決意”“悲痛”“諦観”“自若”などの言葉がイメージされる。像が言葉を発しているかのようだ。それが多少なりとも表現出来たらとデッサンしている。（画像は拙作・ジャン・デール像・・・“決意”が少しでも表現できていたらうれしいのだが）



「ジャン・デール像」富田家一郎(作)

ところで、ロダン館には二人の画家の全身立像が二つ展示されている。画家はロダンと同時代人で、像の構図が面白く多くの生徒が挑んでいる。私もデッサンしたが二人の像からはカレーの市民像が発するような言葉が浮かばないのである。そこで、美術館にあるロダンの資料を拝見すると、画家の一人、クロード・ロアン・・・17世紀イタリアの大画家、肖像画を参考に製作、もう一人、バスティアン・ルバーン・・・ロダンも知る若くして亡くなった同世代人を死後に製作、写真も参考にしたとある。私が二つの像から発信を感じなかったのは、この辺に理由があると思った。

思うに、今の安倍首相のテレビの記者会見する姿から私たちは何かしら発信を受け取れるだろうか。安倍首相のメッセージの内容・評価も重要だが、発信される“何か”も重視したい。それに共感したとき私たちに“信頼”そして“期待”が生まれると思う。

皆さんはどう思いますか？

第9条と私

塩津 民樹

(南瀬名)

日本の憲法に9条のような条項があることを初めて知ったのは中学生の時だったと思いますが、その時思ったのは戦争を放棄し軍隊を持たずに恒

久平和を目指すというのはなんと素晴らしいことだろうということでした。

その後高校生になって、憲法が制定された経緯や9条が設けられた理由なども知るようになりましたが、この憲法は多くの犠牲者を生んだ先の戦争に対する強い反省の上に制定されたということにとっても納得がいきました。戦後70年間戦争に巻き込まれることなく、平和であり続けられたのもこの9条のおかげだと思います。

このような戦争放棄を謳った憲法があるのは、世界広しと言えどもコスタリカと日本だけだと聞いていますが、それだけ時代を先取りした先進的な憲法であるということでしょう。もし世界の他のすべての国々も、憲法に同様の条項を持つようになれば世界の恒久平和が実現するのはまちがいないでしょう。

グローバル化が進み、国家が経済的にも文化的にも相互依存が進んだ現代においては、どこの国も諸外国と平和裡に共存するしかありません。また、今世界中が新型コロナウイルスの脅威にさらされていますが、このような時は国と国が争っている場合ではまったくなく、すべての国々が協力してこの脅威に立ち向かう必要があります。また、今回の脅威が去ってもこのような脅威は今後もあり得ることで、そのような理由でも今後は平和を目指す9条の重要性がますます高まることはまちがいないと思います。

しかし、今日本では保守勢力等を中心に9条をはじめとする現憲法を改正しようという動きが非常に強まっています。彼らの主張は「今の憲法は米国から押し付けられたものであり中でも9条はあまりにも理想主義的である。今は世界の安全保障環境が厳しさを増している。だからもっと現実的な憲法にして軍備を増強できるようにし、他国の脅威に備える必要がある」というようなものですが、このような主張は明らかに間違っていると思います。

私は決して理想主義者ではありません。しかし今の時代に国の安全や平和を維持するために必要なのは軍事力ではなく、外交や交流により諸外国との連携や協力関係を強めることだと思います。軍事力を増強拡大させれば他国も対抗して軍事力を拡大せざるをえなくなり、軍拡競争になるだけで平和どころか戦争の脅威が高まります。平和を軍事力に頼るのはもう古い前世紀の産物であって、国家間が協力しなければやっていけない21世紀においては現実的ではありません。

しかし、今の改憲を主張する人々は思考回路が古く考え方が時代錯誤だと思います。彼らの中には戦前の富国強兵の日本に憧れやノスタルジーを

感じている人たちが少なくないようです。彼らは戦前の日本がいかに不平等で人権が無視された社会であったか、富国強兵が日本にどんな結果をもたらしたのかを理解していないし知らないのでしょう。そんな歴史の事実を知らない人々による改憲は決してあってはならないことだと思います。

ケニアのキラキラマスク

小野 由紀子
(日出町)

大きさも形も様々、ド派手な色とデザインのマスク、アゴマスク、手提げマスクとファッションブルな着こなし？で得意気に笑うナイロビ市民。真っ白い歯が見えないのが残念くらい彼らは元気だ。

友人が立ち上げた「マスク配布プロジェクト」の呼びかけに応え、仕立屋達は100枚、1400枚とクオリティーの高さ関係なくマスクを作っている。そのマスクはホーカー（歩く行商人）がスラムや路上生活者、バイクタクシーなど小さな仕事で暮らしている人たちに渡っていく。



2020年4月ナイロビ市民のマスクあれこれ

市内にはたくさんのおフリカ布キテングやカンガを商う店が群がっている。私が行ったのは1・2階が生地屋、3・4階が間口半間の仕立屋の洞窟(?)だった。四方の壁、天井に積み上げたキテングの中から気に入ったもの数点を選び、マサイのお兄さんに服をオーダーした。彼は採寸し、目の前でジョキジョキ布を切り、足踏みミシンに向かった。数日後、身体にぴったりのアフリカンドレスが完成していた。(1着約1000円) その山ほどある端切れがお金になるのだから仕立屋にとっては稼ぎどき、協力しないはずはない。(布マスクは50~100円)

ケニアは3月25日以降、国際空港は閉鎖、午後7時から午前5時まで外出禁止、パブリックスペース(家の外)ではマスク着用が義務化され、違反者には約20万円の罰金が科せられる。市内(人口336万)の新型コロナ対応のICUベット数38、市外32。日本人の多くは危険を感じてアフリカか

ら脱出している。ビール片手に多国籍料理をばくつき、夢と現実の厳しさを熱く議論したパイオニア達の夜はいつ戻るのだろうか。

レストランは持ち帰りのみ、ローカルなレストランは全て閉まり、美容院は（マスクをつければOK）警察の嫌がらせで閉じている店が多い。外部から家への出入りを制限しているためメイド、ウエイトレス、車洗浄、土建業などの日雇い仕事で生きている多くの人達に雇い止めが多発し食事、水と日々の生活が困難になっている。二人に一人がスラムに住むナイロビでは50%の人が仕事を失っている。

私がサポートしているNGOチャイルドドクターでは、病気の子どもが出たらアプリでタクシーを呼び出しクリニックの受診ができる。市内にはアプリ対応のタクシーが6000台以上あるのですごく便利だ。（初乗り約150円）アフリカ諸国の携帯電話普及率は高くキャッシュレスで生活できる。（ただしチャージがままならないけれど）

チャイルドドクターでは緊急に3000シル（約3000円）の生活支援を始めた。四人家族で1ヶ月分の食料などが購入可能。例えば◎ウガリ16kg（主食トウモロコシの粉）◎小麦粉4kg◎米2kg◎料理用オイル2L◎塩1kg◎砂糖2kg◎トイレットペーパー10ロール◎石鹼1kg

よろしかったら下記からスポット寄付をお願いします。

<https://www.child-doctor.org/contact/index-support.html?src=spot>



上記QRコードはチャイルドドクタースポット寄付へリンクします。

4月14日の情報によると、ケニア政府はスラムへの食料配布を禁止したという。権力者の愚かさは何処も同じ。

新型コロナウイルス

五井 卓
(古庄)

想像もしていなかった新型コロナウイルスによって引き起こされたパンデミック。4月13日現在日本の感染者は7千人を超え、死者は130人以上。世界では感染者180万を超え、死者はなんと11万人を超えた。しかし安倍内閣は、この期に及んで人の命よりも経済を優先しようとしている。

「我々は戦争状態にある」（フランスのマクロン大統領）など主要国トップが相次いで「戦時」にあることを強調し、外出制限など強硬な対策を打ち出したのは3月中旬。感染拡大を受けて都・府・県の知事らが要請して

も、世論調査で発令を求める人が8割近くに上っても緊急事態宣言の発令を躊躇し続け、「アベノマスク」と揶揄された、一国の首相として正気の沙汰かと思われるような政策しかできなかった安倍政権。さすがに、4月7日に改正新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく「緊急事態宣言」を発令した。結局自粛要請は商店など中小企業へしわ寄せと個人の努力目標。以前と変わらない通勤ラッシュの映像や東京下町の繁華街の混雑ぶりを見ると、どうやって「人と人との接触を7割から8割削減する」のか本気で言っているのかと訝ってしまう。

安倍首相が宣言を躊躇し、なおかつ欧米のような強硬な政策を取れなかったのは、日本経済への打撃をできるかぎりおさえたかったからだと言われている。感染拡大地域は人口や企業が集まる東京都や大阪府、福岡県など大都市であり、対象となった7都府県の国内総生産（GDP）は日本全体の半分近い約260兆円に上る（愛知県を入れれば300兆円を超える）。元々効果のなかったアベノミクスなど完全に吹っ飛んでしまう。

4月11日東京都の発症者は197人。しかし検査した人はたった400人。この新型コロナウイルスは80%無症状とされているので、11日だけで1000人以上の新たな感染者が増えたと考えられる。無症候性感染者が増え続け、突然発症者が急増したらもはや手がつけられなくなってしまう。

あまり良い例ではないが、怪我をしたりして感染し腫れたりすると抗生物質を投与する。ここで気をつけなければならないのは最初に少量を投与し様子を見、効かないからと後になって量を増やしても耐性菌が出来たりして十分な効果が得られないことがある。感染が酷いときは最初にドカンと投与し血中濃度をあげ、それを維持するほうが結果として薬の量も少なくてすみ、良い効果を得られることが多い。

過去の黒死病などと同じで、新型コロナウイルスに効く治療薬がない。薬がない現在、この新型コロナウイルスと戦う方法はどんな手を使っても感染経路を断ち切る以外にない。それも小出しにして、様子を見ながらではなく経済的に打撃を受けようと、また、誤解を恐れずに言うならば、たとえ人権が一時的に侵害されようと強力な力でなんとしてでも感染を断ち切る以外にないと思う。生きてさえいれば後はなんとでもなる。

この会報が発行された頃、私の危惧は取り越し苦労におわり新型コロナウイルスの感染が下火になり「さすが安倍晋三首相」ともてはやされていることを切に願う。（4月13日記）

新型コロナウイルス禍

堤 芳子
(八幡)

2020年4月、安倍のマスクならぬ「安倍のリスク」を目のあたりにして「安倍がリスクだ!!」と、コロナ禍のテレビニュースを前に自作のフレーズでテレビに向かって一人で吠える。

民放ではロンドン、ニューヨーク在住の日本人医師達が「日本の対応は歯痒いほど遅い。1か月前のニューヨークと同じだ。1か月後に今のニューヨークにならない様、願うばかりだ」と強い危機感を訴えている。4月8日の7都道府県にたいする首相の緊急事態宣言後の静岡市の土日は、さすがに車の通行が少ない。通行人も随分少ない。近所の飲食店には客の姿が見えない。お店大変だろうな……。この状況はいつまで続くのだろう？二次三次感染も考えると一年かそれ以上を想定しなければならない、とニュースは言っている。世の中はどうなってしまうのだろう。私は年金生活者だから生活費の急増減はないが中小企業や自営業の人々、特に子供を抱えている母子家庭は減収が続いたら死活問題になる。私の子供の家庭がもしもそうなったらと想像すると、私の思考は悲観的に堂々巡りする。ストレスは増す。ペスト以来の人類の危機か？コロナウィルスの強い感染力とそれに対抗する今の日本の医療体制では医療崩壊が起きて、増大する患者の治療に対応しきれない可能性もある、と識者は言っている。え？どういう事？

そうした報道を見ながらの食事は美味しくない。しかし現状を知るために見ている。世界中に拡大したパンデミックのニュースは即座には理解しがたい。辛い現状である。食欲低下、運動不足、頭痛、思考鈍麻を自覚するこの頃である。何とかしなければ……。そうだ、外へ出て深呼吸を試みよう！今借りている一坪農園は春爛漫。無農薬有機の畑には菜の花が咲き誇り、紋白蝶や蜜蜂たちが飛び交っている。三月に植えたジャガイモの芽が出揃ってきた。玉葱も玉葱らしくなり高菜がそろそろ立ち始めている。山葵菜も美味しい漬物になった。春菊も柔らかく生い茂ってくれている。エンドウ豆も「早く私を採って」と言わんばかりに風に揺れている。

こうして畑で植物たちと話をしていると嫌な



ことを全部忘れて春風に身を任せていられる。でも帰宅したら現実をしつかり認識してコロナウィルスに感染しない様させない様に注意を払い、自己免疫力を高めて予防に邁進いたしましょう。もうじき田んぼに水が引かれ早苗が五月の陽に輝き始める。（4月13日記）

拝啓内閣総理大臣殿

大石 博史
（瀬名）

あなたは、この度一世帯2枚のガーゼマスクを配布すると決めました。どれだけのお宅がそのガーゼマスクを必要としているとお考えでしょうか？

私のところでは、毎年花粉症に悩まされるので冬のうちから4月末くらいまで、不織布のマスクを購入し用意しています。ウイルスが楽々通過するようなガーゼマスクは、私のところには必要ありません。私の知り合いは、なかなかマスクが手に入らないと聞いて、手作りのマスクを作っていますが、耳に痛くないゴムが不足して困っているそうです。必要なものは人それぞれ違います。



そもそもあの466億円は、あなたのポケットマネーではなく私どもから吸い上げた税金です。勝手にどうとでもなると考え違いを起こしては困ります。国民の税金を投入するのに優先順位が間違っています。医療崩壊を起こす前に各医療機関に手当てすべきです。

次には、制限を加えた人たちです。最後に国民一人一人に使うとしたら、いくつかの選択肢を用意して、本当に欲しいものを選ばせるようにしたらどうでしょう。ちなみに、どうせなら私のところには手指消毒用のアルコールスプレーにしてみてください。残りが少なくどこの薬局にもありません。

もう一件、憲法改定についてです。あなたは勝手に改正などと申しているようですが、あれは改正でなく明らかに改悪です。呼び方はそれぞれの主観が入るので仕方ないとしても、そもそも全ての公務員は職に就く際、宣誓書にサインしたはずです。半世紀近く前になりますが、私も宣誓書を書きました。中身は、日本国憲法を遵守するとか、信用失墜行為はしないと宣誓したはずです。あなたも議員になったときや、総理大臣に就任するときに署名したはずです。そのあなたが憲法「改正」を口にした瞬間、憲法99条（憲法尊重擁護の義務）違反です。公文書隠し、公文書偽造、無断

廃棄…どれだけ信用失墜行為をくりかえしていることでしょう。

サッカーだってイエローカード2枚で出場停止、レッドカードなら即退場です。あなたがそこにいる資格は既にもありません。他にも「モリ・カケ」問題や「サクラを見る会」など、どれをとっても一般公務員なら即免職です。改ざん・隠蔽問題で自殺された方がおられました。あなたは再調査などやらないと言いましたが、あなたは調査される側です。資格すらない人間が思いつきで勝手なことをしているから、現場が混乱したり国民が振り回されているのです。

あなたの周りにいる側近やら取り巻きが、忖度やら斟酌を繰り返すたびに善良な国民が迷惑を被っています。国が後戻りできないくらいに混乱する前に速やかにおやめください。

ポストコロナに寄せる想い

関 研一

(瀬名中央)

ウィルスに国境はない。中国、米国、欧州等160か国余、世界を席卷している。3月11日のパンデミック宣言から1か月で、感染者と死者が倍々で増加し200万と12万人に及んで、封じ込めに成功していない。更に医療態勢の不十分な途上国への広がりが懸念され国際社会の援助が必要である。

ペスト（黒死病）は14世紀中～後期に全欧州に広がり、死者はその3分の1に達したと推定される伝染病である。近くは1918～19年、第一次大戦中に流行したインフルエンザ（通称、スペイン風邪）で人類史上最大のパンデミックで推定2500万人が亡くなった。日本でも55万人死亡。更に2000年代に入り、サーズ、マーズで100万人単位で亡くなったりしている。感染症を制圧した例は天然痘くらいで、他は重篤化や拡大を押さえて収束を待つしかない。

新型コロナ感染症の莫大な人命と経済活動の損失を戦争のそれに比して「大戦以降最大の危機だ」との訴えが国連事務総長から出ている。目に見えないウィルスに侵されると死に至るかもしれない点では放射線被曝にむしろ似ているかもしれない。共に効果的な治療法がない点で75年前の1945年3月10日、一夜にして10万人以上の生命が奪われた東京大空襲、広島・長崎への原爆投下により殺された30万人余を加えると、この大戦での死者は合計7000万人以上と言われている。

コロナと違って放射能と放射線を利用する原発や各種の原爆、水爆、劣

化ウラン弾等の兵器は人間が作り出したものである。戦後すぐに始まった冷戦が最も激化した時期の1960年代、特にキューバ危機（1963年）前後の10年間は世界中の人々は人類の破滅に脅えた。各国の研究機関が核戦争による被害予測を出した。そのシミュレーションによると最初の24時間で1千万～1億人に及ぶ人命が失われる。更に残留放射能や空中に舞い上がった膨大の粉塵（放射能チリ）によって太陽光が遮られることによる「核の冬nuclear winter」の到来も考えられて「人類絶滅」にも言及したものもあった。文学や演劇にも取り上げられた。『地下第7壕』や映画『渚にて』は今でも思い出すことがある。

戦後75年が経過すると第二世代は忘れてしまうのだろうか。朝鮮、ヴェトナム、アフガン、イラク戦争で多くの血が流されてきた。更に近年、米ソ間の「核兵器削減条約（1991年）」や「米イランの核兵器開発凍結と貿易の進展条約」の廃棄。米、ロシア、中国間の軍拡傾向は世界の「終末時計」を破滅へと一段進めた。核兵器は勿論、全ての兵器はこの30～40年余りの間に格段に高性能化しスマートで残虐さを増した。

核保有国の指導者がその気になれば世代を超えて地球上の全生物に悪影響を及ぼせることを我々は忘れてはいけない。感染症を滅ぼすことは出来ないが核兵器はなくそうと取り組めば可能である。核兵器は開発以来ずっと「ダモクレスの剣」であり続けている。「戦争と核兵器を廃絶しない限り、それによって我々が滅ぼされる」は今でも真実である。

ダモクレスの剣

常に身に迫る一触即発の危険な状態をいう。シラクサの僭主ディオニュシオス1世の廷臣ダモクレスが王者の幸福をたたえたので、王がある宴席でダモクレスを王座につかせ、その頭上に毛髪1本で抜き身の剣をつるし、王者には常に危険がつきまとっていることを悟らせたというギリシアの説話にちなむ。アメリカの J. ケネディ 大統領が1961年9月25日に国連総会で行なった演説のなかでこの言葉を使い、偶発核戦争などの危険について述べたことから、特に有名になった。

ブリタニカ国際大百科事典より

地球危機だ書生論にあらず

宮 秀雄
(古庄)

軍事費を削れば出せる補償金 朝日川柳 4月15日

原発や武器を作るより ICU（集中治療室）や人工呼吸器を作れ！医者や看護師を増やせ！病院を増やせ！

しかし残念なことに安倍政権とこの極右権力を支える官僚、財界、富裕層たちは「今だけ、金だけ、自分だけ、貧困層が増えるのは自己責任だ」

と。第3次世界大戦ともいわれるこの人類の危機を迎えて、医療崩壊寸前のイタリアでさえ日本の医療資源の2倍だと。ドイツのメルケル首相の国民に向けての細やかな心のこもったスピーチに私は感動した。安倍政権は全国の病院、ベッド数を増やすどころか減らせ、と暴論を言明。国民の生命、健康を何だと思っているのか！！

政治とは何か？国家の目的とは？敢てまとめれば①国民の教育水準を引き上げ、生命を尊重し、健康、福祉増進を目指す。②できる限り競争至上主義に陥らず国民間の諸格差拡大を防止するための最適な諸政策を作る。③そして何よりも大切（いの一番の政治の要だ）戦争のない平和な社会を作る事、そのために諸国間と対等平等の外交関係を作る。これらの実現のための具体的な行財政政策を実行することに尽きる。そのための政府である。現憲法を詳しく読み取れば以上の政治の提要は全て憲法に規定されている。

安倍政権は以上のような日本国憲法の精神と法理を読み取る知力と想像力が欠けていて、歴史に関する無知をさらけ出している。彼らは我々国民（その大部分を占める勤労階級）の生活、福祉の向上を願う気持ちは持ってはいない。「自分だけ、今だけ、あとはどうなろうと俺たちの知ったこっちゃあないよ。我が亡き後に洪水は来たれ！」。政治家、権力者は未来を見通す歴史観と想像力を持たねばならない。その逆は戦前の軍部政権であり、極め付きは東条と天皇であった。

戦後最悪の、反知性で人格が崩壊して「息を吐くように嘘をつく」安倍首相。「こんなに愚かな首相を持った国民は不幸だ」、と金子勝立教大教授談。すでに7年間もの長期政権である。何故だ？

大手マスメディア（特にサンケイ、読売、安倍チャンネルともいわれるNHK等）の日々垂れ流すデマゴギーに騙されてはいけない。表面上は中立を装っているが大親分のアメリカ様には逆らえない。加えて「騙しの専門家、プロ」がついている。「今度はどんな手で騙そうかな」と。

ドイツ、ナチスヒトラー政権にはゲッベルスという天才的な専門家があった。私たちは彼らが自分たちに有利な世論を誘導、形成のために権力者が流すメッセージを冷静に読み取る知力、想像力が試されている。スーパーマリオに扮して「アンダーコントロール」という嘘をついて、金と利権まみれのオリンピック開催をも目論んだ安倍一味に騙されてはいけない。

このパンデミックの収束には2～3年かかる、と合唱団仲間の友人の大阪大教授は言う。果たして私はその時まで生きているだろうか？

中曾根から始まって小泉政権で仕上げ段階に入った「新自由主義～ネオリベ」「規制緩和～市場に任せろ」では、労組は分裂と弾圧によって崩壊、解体した。代わって闘わない、労使協調の「連合」へ。以来「自己責任論」が跋扈、喧伝され、労働法制改悪により長時間かつ過重労働は改善どころか悪化し、自殺者、ホームレスが増えた。

加えて辺野古埋め立て続行、アメリカ製武器の爆買い、国民皆保険制度つぶしを狙っている外国の巨大資本に売り渡す対米従属政治は止まらず。まさに従属国どころか「植民地」ではないか。

14世紀にパンデミックを起こし黒死病と言われたペスト（西洋では人口が激減）。大航海時代に西洋とアメリカ大陸で交換された天然痘と梅毒。インドの風土病が英国の覇権拡大によって世界中に広まったコレラ。第一次世界大戦の終結の一因ともなったスペイン風邪。私も世界史の授業で取り上げてはきたが、まさか自分の人生の終盤、末期にパンデミックに遭遇するとは！ 想定外。

“子ども食堂”をご存知ですか？

寺井 久美子
(瀬名)

瀬名川1丁目に、しずおか子ども食堂“しずおかキッズカフェ”があります。毎月2回、土曜日の午後、高校生以下は無料、大人300円でランチを提供しています。運営されているのは、代表の小林タバサさん（静大生）と二人の主婦、そしてボランティアスタッフさんたち。公的支援を受けずに運営されている任意団体と伺い、びっくり仰天！それで、タバサさんにお話を伺いました。

現在、静岡市内には公的支援を受けて運営している認定子ども食堂が14あります。公的支援を受けるためには、看板に「貧困」とか「援助」等の冠を付けなければならない上、運営上のしぼりが生じてきます。新型コロナの感染拡大が懸念される中、認定子ども食堂は活動休止を余儀なくされていますが、公的支援を受けていない“しずおかキッズカフェ”は子ども食堂をオープンすることができています。

タバサさんは言います。

私は中学生の頃から、学校になじめなくなり、不登校・ひきこもりを経験しました。そんな時に、テレビで「子ども食堂」の存在を知り、私のような思いをしている子ども達の居場所を造ろうと思ったのです。家庭でも

学校でもない、子ども達が心から安心して集える「場」を。

初めて子ども食堂に来た子は、「この人、信用できるかな?」と、みんな斜に構えています。だから、「来てくれてありがとう」です。もちろん、食べるに事欠かない豊かな家庭のママや子ども達も来ます。どんな子でもウエルカムです。中には、手づかみでご飯を食べる子もいます。見かねて、「箸使いやマナーを教えさせてください」と申し出られる方がいらっしやいますが、「ちょっと待って」とご遠慮いただいています。

二度三度と補導歴のある中学生たち。どの子も屈託をかかえているので、まず、子ども達は丸ごと受け入れます。むしろ、子ども達に教わることのほうが多いです。そのうち、子ども同士で学び合っていきますね。

こんな女の子がいました。十代の若いママが夜遊びばかり、お腹がすいた女の子は冷蔵庫にあった唯一の食べ物、マーガリンをなめて飢えをしのいでいたらしく、カフェに来た時、冷蔵庫を開けてマーガリンを見つけ、指ですくってなめはじめた姿にびっくり。その子も次第にご飯を食べるようになりました。（ご飯を食べるようになるまで、半年近くかかりました）

食材の調達、そして家賃と光熱費、毎回綱渡り状態です。それでも多くの方々からの食材の提供やご寄付により、5年間続けてこられました。感謝の思いでいっぱいです。

お話しを伺って何かしなきゃ、という思いがわいてきました。たとえハチドリの一滴ほどであったとしても。



4月18日（土）

ランチのメニュー

とんかつ サーモンチーズ
フライ ハムチーズカツ
筍の煮物 しいたけとえの
きのガーリックソテー き
んぴら 菜の花のおひたし
野菜炒め ミックスサラダ
大根サラダ 筍ご飯 ゆで
卵 ごはん 大根のみそ汁
デザート（ぶどうゼリー・
甘夏・苺・クラッカー・マ
シュマロ） 緑茶 コナン
君ソーダ

しずおか子ども食堂“しずおかキッズカフェ”のホームページ

<https://www.shizuokakidscafe.com/>

右記のQRコードはホームページにリンクします。



異説 坂本龍馬

片野 修司
(瀬名)

一介の土佐藩士でありながら風雲の幕末で海軍を志し、長崎で日本初の会社を立ち上げ、明治維新に大きく寄与しながら凶刃に倒れた。ここでは彼の道程を司馬史観と異なる視点で見たい。特に長崎でのグラバーの知己を得て、彼の後押しで活躍した3年間、薩摩藩、英国とのかかわりと暗殺に至るまでを注目したい。

1840年、英国によるアヘン戦争が勃発した。これは英国のロスチャイルドにつながるサッスーン財閥が英国議会議会を動かして開戦に導いた。アジアにおいてサッスーンとライバル関係にあり時に対立、時に協力の位置にあったのがグラバーの属するジャーディンマセソン商会で、いわば英国の国策会社。清との阿片貿易に従事していたジャーディンマセソンの日本支店がグラバー商会。内乱につけこみ幕府、薩長双方に兵器を売るのが彼のビジネス。グラバーは英国王室とつながりのあるフリーメイソンだと言われている。現在の日本の高須美容外科院長も属しています。



長崎市 亀山社中記念館入口

長崎に来た竜馬はグラバーの後押しで、亀山社中という日本初の会社を作りました。グラバー商会のトンネル会社です。竜馬は第二次長州征伐で苦境に立たされた長州に対し、幕府の持っていない新式のミニエー銃（射程1000m）4300丁、幕府の主力銃であるゲベール銃（射程300m）を92400両で買い、薩摩藩名義で長州に転売した。歴史の通説ではこうなっている。代金支払いは長州の伊藤俊輔（後の博文）。

疑問1 足軽身分の伊藤が9万両の大役は疑問

疑問2 長州は第一次長州征伐で資金が枯渇していた

疑問3 当時竜馬は仕事がなく水夫の給料にすら困っていた

グラバーは商人であり、利潤の追求が本分であり、竜馬に資金を提供することはない。一方、薩摩藩は従来の密貿易にプラスして英国との貿易で資金は潤沢にあった。薩摩藩と長州は過去のいきさつで犬猿の仲だが、倒幕の志の長州とは手を結びたい。薩摩は当時長崎にいた五代反厚ごだいともあつを使い資

金を提供したのではないか。

生麦事件に端を発した英国による鹿児島攻撃で英海軍の被害は戦艦3隻損傷、死者20名。薩摩藩の被害は城下の一割消失、砲台の死者10名。阿片戦争の戦果と比べると、「サムライやるな」と。これにより英国はサムライ日本を植民地にする不可を覚ったに違いない。三か月後、英国は薩摩と講和条約を結び薩英貿易が始まる。一年後、遣英使節密出国。1866年、英国の後押しと竜馬の仲介により薩長同盟成立。長州はゲベール銃を主力とした幕軍を破る。1867年、明治天皇即位、薩摩藩幕府の武力討伐方針決定。

ところが、これまで倒幕で一致していた竜馬が船中八策で大政奉還の方針を示し、これを慶喜が受け入れたため、薩摩藩は武力討伐の大義を失い、英国及びグラバーは内戦の期待が外れたため、薩摩藩は京、小御所会議において土佐の山内容堂をおどし、慶喜の辞官納地を決定し幕府を挑発した。この直後、竜馬は京、近江屋において暗殺された。犯人は京都見廻組・佐々木只三郎、今井信郎、新選組・斉藤一ほか名があがるが実行犯はともかく背後に薩摩藩、英国グラバーが蠢動したのではないか。

1868年1月、京、伏見において薩摩藩のアームストロング砲が火を噴き、薩摩、英国、グラバーが望んでいた戊辰戦争が始まる。1868年、英国公使パークスは内戦の局外中立を宣言。米国は内戦不干渉を理由に幕府の発注した鋼鉄艦ウォーンストールの引き渡しを拒む。1868年3月、パークスの圧力で官軍の江戸城攻撃中止。34年後の1902年、ロシアを仮想敵国として日英同盟成立。英国は薩摩、竜馬、長州を使い、日本における地位を確立した。

時代おくれと不安

杉山 明子

(沓谷)

何年前になるだろう。河島英五の『時代おくれ』の歌が好きだった。時代おくれって、いいなと思っていた。後期高齢者にいつの間になってしまった今、あの頃の時代おくれとは全く違った“時代おくれ”が私の日々を悩ませている。ケータイ電話はスマホにしなければダメ、文章はすべてパソコンで、買い物は現金でなくカードで、そしてテレビではAIの時代が来ると言う。取り上げれば数知れずついていけない事ばかり…

それに加えて今、新型コロナの蔓延の中、日々恐怖にさらされている。家の中に居るか、買い物に行くか、ウォーキングするかで一日が終る。誰

とも会わない日が多くなる。老後は楽しく送りたいと思って生きてきたのに、こんな時代がくるとは思ってもいなかった。

どうしようもない事かもしれないけれど、こんな時こそ老若男女で仲良く住み易い国に変えていけたらと思う。税金の無駄使いはやめて、弱い立場の人々を救ってくれる国になってほしい。“平和”が一番です。

戦後75年、楽しかったことがたくさん思い出されます。今、この不安を乗り越えたいと思います。そして、河島英五の『時代おくれ』を歌って、心温かに過ごせる日が来る事を待ちます。

阿久悠 作詞、森田公一 作曲、河島英五 歌、
『時代おくれ』 さびの部分

目立たぬようにはしゃがぬように
似合わぬことは無理をせず
人の心を見つめつつける
時代おくれの男になりたい

お弁当作り、うん十年

大坪 美恵子
(千代田)

四月、今年も庭の山椒の木の芽がいっぱい出てきた。この山椒が芽吹くと、早速たけの寿司。亡き夫、征男が喜んで食べたものの一つだ。

やわらかな筍の穂先をつかって、おかかと煮たものも絶品だ。この煮物を天ぷらにしてもよい。そして、桜エビと人参、三つ葉を入れたかき揚げ、この二品を籠にハランか南天の葉を敷いて、天ぷらの上に二、三枚木の芽を散らすと、料亭に行った気分になれる。

夫が勤めた間は三百六十六日、弁当持参だった。夕食も「けんちん汁がいい」、「今日は筑前煮にして」とカリクエストが出るので、今日は何にしようかと、あんまり考えなくてすむので、とても楽だった。



夫は、季節の野菜と新鮮な魚があれば、それで満足のようなだった。この時期は、木の芽や筍とともに、夫のこやかな顔を思い出す。秋の山芋もその一つだ。

やるしかない“3000万署名”

塚原 保

(瀬名)

私は竜爪山九条の会の一員として、遅ればせながらも重い腰をあげて、ようやく二年前から3000万全国統一署名に取り組むことにしました。それというのも安倍総理のあまりにもひどい不用意な言動に、もう我慢できませんでした。一人や仲間同士で安倍総理を非難しても彼の耳元には届きません。かといって東京を中心としたデモ行進や集会に参加できない自分としては3000万署名の活動しかないと判断したからです。

しかし、始めてみたら賛同者が意外と多いのに驚きました。それもそのはず、署名用紙の本文にあるように、第九条を改正して日本が再び海外で戦争できるようにしようとする安倍総理の本心に、瀬名町民が賛成するはずがありません。さらに静岡大空襲、沖縄戦、さらに原爆投下などにより多くの犠牲者が出たことを話題にしたところ、年齢に関係なく多くの方から賛同を得られたような気がしました。

しかし、すべてが順調に推移したわけではありません。署名を拒否された方が二人おりました。二人ともこちらが趣旨説明する前に「署名ですか。そういうものは我家ではお断りしています」と言われて簡単にあきらめてしまいました。私の努力不足を反省させられました。

それでもなおかつ署名活動を続けてきたのは一筆の重み、一筆に託された思いが全国的に集約されれば、それが数のパワーとなって安倍政権といえども侮ることはできないだろうと信じているからです。



意見広告、ご賛同ありがとうございました。

恒例となりました、新聞の意見広告は、5月3日、憲法記念日に、朝日新聞と毎日新聞の朝刊に掲載される予定です。（新聞社の都合で日にちが変更される場合があります）

当会の賛同者は200名、うち氏名掲載は196名でした。

ご賛同、ありがとうございました。

なお、全県の集計結果は以下の通りです。（4月22日現在）

中部	1355名	40団体	※ご賛同いただいた方には、5月中旬に「抜き刷り」をお届けします。
西部	1000名	24団体	
東部	2369名	26団体	
計	4724名	90団体	

一人来てひとり春田を打ちはじめ

栗田ひろし

意見広告

いま、憲法を変える必要はありますか？

“戦争しない日本”であり続けられたのは、9条の存在と日本国民の努力の結果です。

意見広告参加9条の会

編集後記

1年3カ月ぶりの会報をお届けします。会員の皆さま、工夫を凝らして、一日、一日を過ごしておられることと思います。思いの丈を会報に書いてみませんか？投稿、お待ちしております。

編集担当・寺井
054-261-8362

5月3日、憲法記念日に、朝日新聞と毎日新聞の朝刊に掲載予定の新聞意見広告